【報道資料】　　平成 24 年 5 月１０日

スーパーハイビジョン用小型カメラヘッドを開発
～ハイビジョンカメラと同等のサイズを実現～

- NHK は、臨場感あふれる次世代のテレビジョン放送サービスとして、スーパーハイビジョン（SHV）の研究開発を進めています。今回、現行のハイビジョンカメラと同等サイズの SHV 用小型カメラヘッドを株式会社日立国際電気の協力を得て開発しました。

- 従来の SHV カメラは、複数の撮像素子を組み合わせた撮像方式を使用していますが、これらの方式では 3 原色に色を分離するプリズムが必要となるため、カメラヘッドの小型化が困難でした。

- 今回、新たにカラーフィルタを搭載した 3,300 万画素撮像素子を試作し、撮像素子１枚でカラー映像が撮影できる単板カラー撮像方式の SHV 用小型カメラヘッドを開発しました。単板カラー撮像方式ではプリズムが不要となるため、SHV 用カメラヘッドの大幅な小型・軽量化を実現することができました。

- カメラヘッド本体の重量は約 4kg で、これまで使用してきた SHV 用カメラヘッドに比べて 1/5 以下に軽量化されています。さらに、カメラヘッドを小型化したことにより、一眼レフカメラ用のさまざまなレンズもそのまま使用できるようになりました。

- 今回開発したカメラヘッドは、5 月 24 日（木）～27 日（日）に開催する NHK 放送技術研究所の一般公開でご覧いただけます。高精細で、実物の質感を忠実に再現する SHV 映像の魅力をご堪能ください。

（参考）

図１　スーパーハイビジョン用カメラヘッドの比較写真
＜ 新開発した小型機（左）と従来機（右）＞

表１　開発したカメラヘッドの仕様

光学フォーマット	2.5 インチ
撮像方式	単板カラー
撮像素子	3,300 万画素 CMOS （水平 7,680 画素×垂直 4,320 画素）
フレームレート （1 秒あたりの画像の枚数）	60 フレーム／秒
カメラヘッド重量	4ｋｇ（レンズ含まず）
消費電力	45W
限界解像度	3,400TV 本以上